

地域の皆さんと意見交換
第5回まちづくり懇談会開催



今年で5回目となる「まちづくり懇談会」が10月17日の幸町、本町自治会さん館を皮切りに12月6日までの予定を組み、町内18カ所で開催されています。今年の意見交換のテーマは、

- ① 認定こども園について
- ② 自治会からのテーマ

の2点で、佐藤多一町長と役場の地域担当連絡員らが出席し、地域の皆さんとの活発な意見交換が行われています。少子高齢化が進む中で、これからのまちづくりを具体的にどのように進めて行くべきなのか。

今回に限らず、今後も若い方、年輩の方を問わず率直なお話を伺いたいと思いますので、より多くの方の参加をお願いいたします。

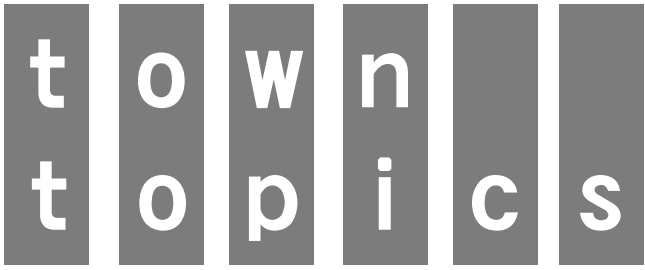
給食も美味しくいただきました
津別小学校でサケ出前授業

10月27日、津別小学校の2年生クラスで、網走川流域農業・漁業連携推進協議会山田邦雄会長の協力による「サケ出前授業」が行われました。

網走漁協の村田隆蔵青年部長と武田耕一郎さんが先生役になり、持参したオホーツク産のサケを実際にさばいて説明。生徒たちは普段は目にする機会のないサケの心臓や、お腹から取り出されたばかりの筋子を興味深そうに見ていました。



当日は町内の全小中学校の給食に、網走漁協提供のサケと「JAつべつ」提供の玉ねぎ、人参を使った地産地消メニューが出され、生徒たちは流域のつながりや河川環境の大切さを学びました。



まちのわだい

幸町自治会の花壇が全道コンクール入賞
ホームページで公開中

広報10月号で津別町の花壇コンクールを紹介しましたが、そのうち幸町自治会の花壇が「第39回北海道花いっぱいコンクール（財団法人北海道地域活動振興協会）」で入賞しました。津別町花のまち推進協議会の推薦を受けて応募したもので、同コンクールの職場・地域の部21点の中から優良賞に選ばれました。

入賞団体の花壇は、(財)北海道地域活動振興協会のホームページで紹介されています。



(財)北海道地域活動振興協会HPアドレス
<http://www.fureaizaidan.or.jp/>

10月30日、中央公民館で「つべつリコーダーセミナーコンサート」が行われました。

前日まで実施されたセミナーに全国から参加した、初級者コース、上級者コース合わせて60人あまりの受講生と、講師を務めた金子健治氏ら4人の奏者が、4部構成で多彩な演奏を披露。

初級者コースの初々しい音色から、上級者コースの見事なハーモニー、全体合奏での息の合った迫力ある演奏、そして講師による最高レベルの演奏まで、観客はリコーダーの魅力を満喫しました。



異文化に触れて視野を広げる
ニュージーランド研修出発式

今年参加するのは津別高校2年生の迫田成美さん、1年生の大竹駿三君、古跡優君の3名。

生徒たちは「ホームステイ先の家族に積極的に話しかけたい」「迫田さん、「本場の英語を勉強したい」(大竹君)、「外国の文化を吸収したい」(古跡君と、それぞれ抱負を語ってくれました。

佐藤多一町長からは「若いうちにいるいるな体験をして、何かを見つけてきてください」と、激励の言葉がありました。

軽やかな音色が広がる
リコーダーセミナーコンサート



10月19日、平成23年度の青少年海外研修派遣事業によるニュージーランド研修の出発式が、町長室で行われました。

中央公民館で開催された第30回町民文化祭主催・津別町文化協会の一環として、絵画展、総合展示、アマチュア無線交信などに引き続き、11月20日に舞台発表が行われました。

津別中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けた舞台上では、各参加団体が舞踊、詩舞、三味線、大正琴、歌謡曲、合唱、リコーダー、太鼓、社交ダンスなど様々な演目を披露。

1年間の活動成果を披露
第30回町民文化祭舞台発表



日ごろの練習の成果とその熱演ぶりに、会場を埋めたたくさんのお客からは惜しみない声援と拍手が送られていました。

11月1日、網走市エコーセンターで「TPP交渉参加問題を考えるオホーツク集会」が開催され、津別町からは佐藤多一町長、鹿中順一議長はじめ、JA、役場関係者などが参加しました。

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加は、オホーツク地域経済に壊滅的な打撃を与え、社会全体の崩壊に繋がる深刻な影響があることが懸念されており、津別町も例外ではありません。

集会の中では、「TPP協定への参加反対を政府に強く訴えます」と決意表明が発表され、参加者全員が一丸となって、TPP反対の意思確認をしました。



地域経済に壊滅的な打撃を与えるTPP協定の参加反対を訴える

11月3日の文化の日、町の発展や振興に多大な尽力をされた方々を功労、善行の分野において表彰し、中央公民館を会場に表彰式を行いました。

今年、自治、産業開発、社会福祉、善行で功績があった6氏1法人が受賞し、佐藤多一町長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を贈呈しました。

また、受賞者を代表して水上齋さんから「今回の受賞に恥じぬよう、今後とも地域の発展に貢献していきたい」と謝辞が述べられました。受賞おめでとうございます(受賞者の詳細は、広報つべつ11月号で紹介しています)。